

1日目(9月8日) セッション概要-III

SP-1 これからの事業継続マネジメント 13:10 経験を実践へとつなげるBCM

株式会社富士通総研 第二コンサルティング本部
BCM事業部 事業部長 伊藤 毅

【セッション概要】

東日本大震災によるビジネス被害と各企業の対応状況を踏まえ、今後の事業継続の目指すべき姿や方向性、企業における危機管理および情報システムのあり方について、ご紹介いたします。

また、今回の被災経験をどのように今後の計画見直しにつなげるのか、その為にはどのように記録を残すべきかの、各企業が抱える直近の課題についても解決の方向性をご紹介いたします。

【講演者略歴】2005年より、富士通株式会社において富士通グループのBCM推進責任者を務める。2007年以降は、株式会社富士通総研BCM事業部長として、企業危機管理全般にわたるコンサル部門の責任者として幅広い業種の企業をサポート。特定非営利活動法人 事業継続推進機構 副理事長。

SP-3 災害に備える新しい社会の仕組みの創造 15:35

特定非営利活動法人シュアティ・マネジメント協会
理事長 佐藤 唯行

【セッション概要】

東日本大震災は、現在の社会に大きな衝撃を与えた。そして私達は、今、災害に対して具体的に考え行動しようとしている。しかし、それは継続的な活動となり得るだろうか？ 阪神淡路大震災も、当時の私達に大きなインパクトを与え、社会はその災害に向き合おうとした。そして、防災を普遍的な価値と捉え人々は復旧・復興という時期を過ごしたが、その後、私達は日々の生活に追われる中で、その価値を忘れてしまったのではないだろうか？ 今回、社会が災害などの人々の安心や安全に取り組み続ける仕組みを新たに創造した活動について報告する。

【講演者略歴】1996年:災害軽減工学において修士号を取得 1996年:清水建設(株) 国内および海外で勤務 2008年:東京大学生産技術研究所 *民間活力による社会全体的な災害対応力の研究をテーマとし研究活動を再開 2008年:NPO法人シュアティ・マネジメント協会を立ち上げる。

SP-2 想定外の事態におけるリーダーのあり方 14:15 平時の行動が決める ～化学テロ対応からの教訓

ダイコー株式会社
取締役 専務執行役員 福山 隆

【セッション概要】

マニュアルどおりにきちんとできることは仕事の基本であるが、「想定外」の事態はつねに起こりえる。そのときに必要になる合理的な思考と行動は平時の蓄積からしか得られない。化学テロという未曾有の事態にリーダーとそのチームはどのように行動したか。クライシスマネジメントの一例として、①状況の把握、②オプションの列挙、③行動方針の決定、④計画の作成、⑤実行の命令、⑥実行状況の確認など、自衛隊という組織のマネジメントの一例を提示する。

【講演者略歴】1947年生まれ。1970年防大卒。陸上自衛隊入隊。外務省出向。冷戦崩壊直後には防衛駐在官としてソウルに駐在。地下鉄サリン事件時除染隊を指揮。情報本部初代画像部長など情報職を歴任。05年春、西部方面総監部幕僚長・陸将で退官。ハーバード大学上級客員研究員。

SP-4 復興支援プログラム「ITで日本を元気に！」 16:40 その後の被災地の状況と震災復興の進捗について

トライポッドワークス株式会社
代表取締役社長 佐々木 賢一

【セッション概要】

東日本大震災から半年。マスメディアからの情報は、震災当初に比べかなり少なくなってきました。そこでこのセッションでは、平日は東京と仙台を往復、休日は仙台と三陸を往復している企業経営者の目線から、災害時のリーダーシップ、発生から半年経った東日本大震災の被災地の状況、復興の進捗状況について生の情報をお伝えいたします。また、復興支援プログラム「ITで日本を元気に！」及び「仙台から日本を元気に！」の活動状況をご報告するとともに、今後の活動計画をお話しさせていただきます。

【講演者略歴】1967年仙台市生まれ。株式会社日本総合研究所、日本オラクル株式会社を経て、2005年にトライポッドワークス株式会社を創業。当社はネットワークセキュリティや組み込みソフトウェアの分野での独自ソリューションに強みを持ち、全国に4000社以上の顧客を持つ仙台のIT企業。

カフェ・ド・eシンポ 9月8日(木) 9:15~16:40 2F 平安

“展示コーナー”“参加者交流の場”“ドリンクサービス”

出展企業名	出展概要
日本プロジェクトマネジメント協会	PMAJが実施する講座、セミナー、出版物等のご案内および部会、SIG、研究会等の活動のご紹介とご参加案内。
ITエンジニアリング株式会社	エンジニアリング／建設／製造向けプロジェクトマネジメント用パッケージとテンプレートのご紹介。
プラネット株式会社	「PM標準10のステップ」(公開セミナーは150回超)やPMP®受験対策コース、アドバンスコースなど、高品質セミナーをご紹介します。
アイシंक株式会社	PM研修プログラム・PM力診断など、プロジェクトを成功に導く効果的なサービスのご紹介。
日揮情報システム株式会社	IT企業、エンジニアリング企業向けのサービス・事例の紹介。
プロジェクトマネジメント情報研究所株式会社	実践する次世代型プロジェクトマネジメントのコンテンツのデモンストレーション、体験型学習プログラムの紹介。

2日目(9月9日) セッション概要-I

A-1 日本再建に不可欠なP2M:プロジェクト&プログラムマネジメント 10:00 正しいP2Mを学ぼう、緊急時でも活躍できるプロマネのノウハウ

有限会社経営組織研究所
代表取締役 渡辺 貢成



【セミナーの狙い】

①危機に直面している日本経済はPMBOK®では救えない。正しい青図画が求められている。あなたは構想計画をかけるか。確実に成功するPMの手法を学ぼう。②緊急事態に直面して、あなたは逃げずに行動できるか。そのノウハウは何か。

【セミナーコンテンツ】

①すべての業界を通じてPMは世界中基本的におなじ手法が採用されているが、日本では日本流が横行し、グローバル社会で遅れを取っている。日本流の問題点の指摘とグローバルで勝つためにあなたは何をすべきかを解説する。②人間系のPM:欧米は「企業は組織なり」で運営されている。日本は「企業は人なり」で運営されている。変化の早い時代で日本人は有効に活用されていないことを知っているだろうか。グローバルで勝つための組織と人材のあり方を解説する。

【受講をお奨めする方】

経営者、経営企画者、研究開発者、プロジェクトマネジャー、IT発注者、ITベンダー・プロマネ。

【講師略歴】職歴:日揮:石油精製(ドミニカ、ブラジル)原子力関連プロジェクト事業副本部長、有人宇宙システム(株)(国際宇宙ステーション計画で利用・運用・安全・宇宙飛行士育成を担当する企業)専務、JPMF初代事務局長、P2M創設委員会事務局、P2Mガイドブック改定委員長、PMC、PMS講師、東北大MOT講師、北陸先端科学技術大学MOT講師、PMAJ理事、東京P2M研究会代表。

A-2 ポートフォリオ&プログラムマネジメント概説 10:00 PMI®(米国PM協会)標準の知識体系の解説

株式会社ビーアンドアイ・PM教育・コンサルティング 本部ディレクター 内藤 裕一
東洋エンジニアリング株式会社 プロジェクト管理部 米澤 徹也



【セミナーの狙い】

プロジェクトの成功はプロジェクト単独で達成できるものではないということが明らかになっている。プロジェクトはビジネスを成功させるために実行され、その成功は企業戦略・目的に貢献するものでなくてはならない。PMI®は、ビジネス目的達成に最適のプロジェクトを選定するポートフォリオマネジメント、特定の目的を達成するために複数のプロジェクトを実行するプログラムマネジメント、組織成熟度を評価するOPM3を、企業目的の達成のための標準体系として提唱している。当セミナーは、これらのPMI®標準を概説し、プロジェクトの真の成功を達成する知識の入り口を提供することを目的としている。

【セミナーコンテンツ】

PMI®標準の体系、ポートフォリオマネジメント概説、プログラムマネジメント概説、OPM3概説

【受講をお勧めする方】

プロジェクト・マネジャー、プログラム・マネジャー、ポートフォリオ・マネジャー、PMI®プロジェクトマネジメント体系を知りたい方

【講師略歴】内藤裕一:日本IBM、アクセンチュア、日本SGI、日本EDSでプロジェクトマネジャー、プログラムマネジャー、システム・インテグレーション本部長などを務める。研修第2部副部長、国際大学非常勤講師。米澤徹也:東洋エンジニアリング(株)に入社後、一般産業・石油化学プラントの設計・プロジェクトおよびコストエンジニアリング業務を担当。現在プロジェクト管理部に所属。PMAJ理事、研修第2部部長。

B-1 PMBOK®解説講座 13:45 難解なPMBOK®をITプロジェクトで理解しよう!

株式会社日立コンサルティング
産業・流通サービス本部 シニアコンサルタント 秋山 孝之



【セミナーの狙い】

PMBOK®ガイドは版を重ねて第4版となり、内容はますます洗練されてきた。PMP®取得者は30万人を越え、プロジェクトマネジメント知識の標準として広く認められてきている。しかし、取得者が増える一方で、PMBOK®をどのように実プロジェクトへ適用したらよいか、という課題も残る。そのため本セミナーでは、このPMBOK®ガイドの概要をITの実プロジェクトに当てはめて解説することで、実プロジェクト適用への助けとする(理解促進につなげる)ことを狙いとする。

【セミナーコンテンツ】

PMBOK®ガイドのフレームワーク、9つの知識エリア、5つのプロセス群、42のプロセス及び、PMBOK®ガイドをIT実プロジェクトにマッピングした内容を解説。

【受講をお奨めする方】

PMBOK®ガイドの内容を知りたい方、PMP®取得を目指す方、プロジェクトマネジャー、プロジェクトリーダーの方。

【講師略歴】1973年生まれ。国立茨城大学工学部卒。某大手電気メーカーにて、原子力発電所の品質保証業務を経験した後、IT企業へ転職し、官公庁のGIS(地図情報システム)開発、ICカードを用いたシステム開発等のプロジェクトリーダー・マネジャーを経験。現在は日立コンサルティングに所属して、PMO、各種BPR、戦略立案等のコンサルティング業務に従事している。日本プロジェクトマネジメント協会会員、PMP®。

B-2 ITプロジェクト「急がば回れ」の法則 13:45 プロジェクト成功のカギは立ち上げ時の土台作り

株式会社ヘッドストロング・ジャパン
シニア マネジャー 戸田 朋宏

【セミナーの狙い】

ITプロジェクトのトラブル原因を突き詰めていくと、初期見積り・想定リスク・体制構築などの土台作りが不十分であることに辿り着くケースが多い。このような場合、多少のメンバー増強やプロジェクト管理方法の見直しだけでは、事態を好転させることはできない。

本セミナーでは、プロジェクト立ち上げ時の土台作りを具体的に説明するとともに、プロジェクト立て直しを行う際のテクニックやノウハウをプロジェクト事例を含めながら紹介し、プロジェクト成功のカギを理解していただく。

【セミナーコンテンツ】

- ・プロジェクト立ち上げにおける進め方・ポイント
- ・プロジェクト立て直しにおけるアセスメントと土台の補強
- ・プロジェクト実行に活用できる管理ツール

【受講をお勧めする方】

ITプロジェクト投資の意思決定者、ITプロジェクトマネジャー、ITプロジェクトリーダー

【講師略歴】日系医薬品会社にて営業及び人事を経た後、外資系コンサルティング会社にて、情報・経営戦略立案、プロセス改善、チェンジマネジメント等のコンサルティング・サービスを提供。株式会社ヘッドストロング・ジャパンにおいては、プロジェクトマネジャーとして、EA(エンタープライズ・アーキテクチャ)業務、ITプロジェクトPMO、ベンダーマネジメント支援、コスト妥当性評価等のCIO支援に従事。